

かみさと



学校教育目標

豊かな心もち
他のために行動できる子
やさしく かしく
たくましく

㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ

㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより

発行者 校長 梶山 崇

〒339-0006 さいたま市岩槻区上里2-2

令和2年12月1日(火) 12月号

TEL048-794-2316

児童運営委員による「いじめなくそう集会」

校長 梶山 崇

10月22日(木)、今年度2回目の運営委員児童による「いじめなくそう集会」が行われました。「新型コロナウイルス感染症に関するいじめ」をテーマとしました。3部構成から成り、第1部は「医療従事者の家族に対するいじめ(紙芝居の読み聞かせ)」、第2部は「コロナハラスメントについて(紙芝居の読み聞かせ)」、第3部は「友だちとなかよく過ごすために運営委員が考えた合言葉(発表)」でした。

私はこれらの内容を運営委員の子どもたちが考え、紙芝居を作成したことにとても感動しています。内容も新型コロナウイルス感染症に関する情報が溢れる中、よく調べ、必要な情報を取捨選択して、子どもたちにも、教職員にも説得力がある内容でした。いつもながら子どもたちのすばらしさを感じました。

友だちとなかよく過ごすための合言葉(運営委員の児童作)

- ・心のきよりを縮めよう。・ろうかであいさつしよう。・なかよく遊ぼう。・ウイルスに負けずに。
- ・いつも笑顔で。・ルールを守って・過ごしましょう。

見る人に感動を与えた校内持久走記録会

校長 梶山 崇

11月18日(水)、この時期としては少し気温が高めの快晴の日に本校の校内持久走記録会が行われました。一人ひとりの子どもたちがもてる力を十分に発揮し、最後まであきらめずにごんばろうとする強い心意気を感じたり、走り終わったあとのお互いのやさしい声かけや拍手での温かい応援の様子等を見たりすることができ、本当に気持ちのよい1日でした。

今年度の校内持久走記録会は、進め方としては例年とほぼ同じ内容でしたが、スタート時やゴール時のディスタンスを例年より少し広めに取ったり、応援は拍手を推奨したりするなど、10月に実施された運動会と同様、進め方を変更した部分もありました。また、3月から約3か月の臨時休業で、子どもたちにもstay homeが求められたこと、8月、9月初旬の猛暑で体育の授業ができなかったことなどもあり、子どもたちも運動慣れしていない場面も見られました。しかし、教室での授業参観の実施が難しい現在、何としても子どもたちのごんばっている様子を保護者のみなさまにご参観いただきたいと思い、実施させていただきました。さわやかタイムでの偶数学年と奇数学年に分散しての持久走練習、学級の体育の時間の時間走などを経て、当日を迎えました。

当日私は、全学年の子どもたちの走っている様子を見ましたが、子どもたちの走っているときの様子や走り終わったあとの様子を見て、一瞬、「(持久走記録会は)子どもたちのためになったのだろうか」と自問自答しました。しかし、ごんばっている子どもたちの様子は、すべての方に感動を与えるとも思いました。ひとえに記録会の成功は保護者のみなさまのご支援のおかげです。ご家庭でも持久走の練習を行ったというお話も聞きました。前向きに取り組む子どもたちのすばらしさに改めて感心しました。ありがとうございました。

また、例年でしたら子どもたちも保護者のみなさまも大きな声を出してご声援いただくわけですが、今年度は拍手を多用するなど、学校の新しい生活様式を意識しての行動も私は本当にありがたいと思えました。やはり、見ていただき、応援していただくことは子どもたちにとって、力を発揮できる重要な要素であることも改めて分かりました。

長かった2学期も残り3週間あまりとなります。今月も本校の教育活動にご支援をお願いいたします。

※今月は2つのテーマについてお伝えさせていただきました。